

令和元年 12 月 27 日
国立大学図書館協会

オープンサイエンスの推進に向けた協会の行動計画の具体的なイメージ

○ アドボカシー活動の推進

(短期)

- ・ 国大図協総会で研究データ管理、オープンリサーチデータをテーマとした研究集会の実施（主に経営層、ミドル層を対象）
- ・ 海外、国内を取り混ぜた実践例を学ぶテーマによる国大図協シンポジウムの開催（主に担当者を対象）

(中期)

- ・ 国立大学協会、日本学術会議、大学 ICT 推進協議会など関連組織・団体と協議
- ・ 研究データ管理、公開に関わる関連組織・部署（情報センター、研究推進部門、URA 等）との連携を進めるために必要な方策の検討

○ 人材の育成

(短期)

- ・ NII、JPCOAR の RDM トレーニング教材の開発に協力

(中期)

- ・ 地域、研究分野等に応じて大学におけるデータマネジメント実務の講義、講習等が行える人材育成の支援
- ・ 人材間のスムーズな情報共有の仕組みづくり、先導的事業に関与させる組織づくりや人事的配慮の事例共有
- ・ 関連部署との連携や専門的教育を受けた人材との協働による人材確保

○ 先導的事業の推進

(短期)

- ・ 数プロジェクトに対して年間総額 100 万円程度を協会予算から助成
- ・ ビジョン推進事業（令和元（2019）年度まで）の後継事業として、令和 2（2020）年度から実施

(中期)

- ・ 分野別の会員館グループのオープンデータ計画に対して、外部資金（民間系、財団系等）の助成申請を支援

※ 以上は、行動計画の具体的なイメージを喚起するための例示であり、実施に当たってはそれぞれ別途、検討・調整を行う。